

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス パーシー			公表日	R7年 2月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動を行う場、遊ぶ場等分けて、子ども達が過ごしやすい様に配慮している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準に基づいて人数を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	○		活動を行う場、遊ぶ場等分けて、子ども達が過ごしやすく、わかりやすいようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、片付け、定期的な空調機械の点検等行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		個別対応が必要な児童は、静養室を利用し対応しているが、家屋の構造上、個別室を設ける事が出来ていないので、パーティションの利用等、検討していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングにて話し合う機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年のアンケートにて頂いた意見を職員間で共有し対応している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングにて意見交換する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行ったことがない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必要な研修は受ける様にしている。また、希望があれば出来るだけ対応出来るようにしている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティングにてスタッフ間での情報共有が出来るようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化されたツールを用いてのアセスメントが十分ではないように感じるので改善していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日ごろからスタッフ間で活動内容を話し合い、検討している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動の写真を見直し、過去にあったものと同じものがないように工夫している。しかしビジョントレーニング等は定期的に行うようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		その時々の子どもの状態に応じ、活動内容を検討し、実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングにて行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		送迎後の報告にて行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用した児童は毎日の記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度の見直し、また必要時には見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自由発想の活動も適宜取り入れている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要時には連携を取るようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		基本的には、学校側から下校時刻の連絡等は避けてくださいとの事なので、下校時刻は保護者とのやり取りである。送迎時、何かあれば学校から連絡をいただく場合もあり。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会議等で情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		卒業後、障害福祉サービスへ移行した事例がないため経験がないが、今後そのような事があれば、支援内容の提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		児童発達支援センターとの交流がほとんどなく、連携が取れていない。研修を受ける機会はあるので今後は積極的に参加し連携がとれるようにしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		こども110番の家に登録しており、地域の学生が困った時等、立ち寄れるようにしている。よく立ち寄ってくれている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		積極的には参加できていない。参加する機会があれば参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時等、様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ご家族に対しては、ご相談があれば対応している状況ではあるが、こちらから機会を設ける事は出来ていないので、研修等あれば情報提供していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始前の契約の時点で書面で説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		見学時等にアセスメントを行っている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があればLINEや電話にて対応している。希望や必要時は面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		コロナや色々な感染症予防も考慮して、保護者同士が交流できる機会を設けたことがない。今後機会があれば検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		LINEや電話、お帳面にて保護者からの意見や苦情を受け付けている。何かあれば出来るだけ早い対応を心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	活動内容はお帳面にその日に保護者にお伝えしている。また写真をお渡ししてその時の表情も見える様にしている。こどもの適応力を上げるため、見通しを立てすぎないようにするように、敢えて活動概要や行事予定は発信していない。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き棚に情報は保管している。写真撮影も利用前に保護者に承諾を得てから行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアル策定を行っている。	職員間では周知されているが保護者への周知が十分ではないので、今後周知する機会を設けていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP策定を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始前に保護者からチェックシートに記入をしてもらっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	アレルギーのある児童に対しては除去食で対応している。	医師の指示書がある児童が入所したことがないので経験がない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全には十分考慮して行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		家族への周知は十分に出来ていないので、周知できるよう努めていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		内容をスタッフ全員で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を受けたり研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			身体拘束を行うけ検討をする事例がないため、経験がないが、今後そのような事例が発生した場合は十分に考慮していく。